

2019年
(平成31年)

2月26日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日

(毎週火曜日発行)

今号の特集

- ▷飲料特集 ④~⑤面
▷18年中京地区
歳暮動向 ⑧~⑨面

tabete

国分グループ本社株式会社
<http://www.kokubu.co.jp/>

第3320号

発行所

中部飲食料新聞社

名古屋市中村区名駅5-18-9
電話(052)571-7116代表
FAX(052)571-7118

東京支局

東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話(03)5614-7531
FAX(03)5614-7532

中部飲食料新聞

パン・パシHD
(旧ドンキHD)

ユニー成長戦略説明

19年第2四半期増収増益

パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(旧ドンキ)は「19年6月期第2四半期決算」を2月6日に都内で発表を行った。

連結業績は、売上高が五一三四億一六〇〇万円、前年比10.9%増益三五三億三〇〇万円・8%増、当期純利益二三六億六〇〇万円、26.4%増。売上高の増加は特に食品や日用品、インバウンド消費が想定以上に好調。ただ大原孝治社長は業績について

売上高四九八二億円のリテール事業は前期比11%増。リテール事業の32.7%を構成する〈食

品カテゴリー〉の売上高は一六七九億円の9.4%増。たMEGAドン・キホーテUNY6店舗の進捗状況(転換前対比)は売上で83%増客数で58%増、粗利で59%増と「絶好調」(大原社長)。従来の計画通り今年は約20店舗、今後5年以内に約100店舗を業態転換し、5年後には

粗利を約二〇〇億円(試算)上積みする計画。

子会社となつた「ユニの状況及び今後の展開」として、UDリテールが運営する業態転換したMEGAドン・キホーテUNY6店舗の進捗状況(転換前対比)は売上

で33%増客数で58%増、粗利で59%増と「絶好調」(大原社長)。従来の計画通り今年は約20店舗、今後5年以内に約100店舗を業態転換し、5年後には粗利を約二〇〇億円(試算)上積みする計画。

商号をPPIHに変更(19年1月4日付)したこともあり、期末売上高は一兆三七〇〇億円の45.4%増、営業利益六三〇億円の22.2%増、

MEGA店では暖冬により葉物野菜が相場安となるも手巻き寿司などのアウェーパック惣菜が好調。通期業績は、19年1月にユニを完全子会社化したことと、269店舗増加(内訳はアピタ90店舗、ピアゴ98店舗、miniピアゴ75店舗、MEGAドン・キホーテ6店舗)

ことがあり、期末売上高は一兆三七〇〇億円の45.4%増、営業利益六三〇億円の22.2%増、

MEGA店では暖冬により葉物野菜が相場安となるも手巻き寿司などのアウェーパック惣菜が好調。通期業績は、19年1月にユニを完全子会社化したことと、269店舗増加(内訳はアピタ90店舗、ピアゴ98店舗、miniピアゴ75店舗、MEGAドン・キホーテ6店舗)

こともあり、期末売上高は一兆三七〇〇億円の45.4%増、営業利益六三〇億円の22.2%増、

MEGA店では暖冬により